



発行
 長野県PTA連合会
 長野市旭町1098信濃教育会館内
 TEL 026-235-4361
 発行者/山崎弘道
 編集者/赤羽聡

ホームページ
<http://www.pta-naganokenet>
 E-mail
office@pta-naganokenet

やる気・生き生き・元気

CONTENTS



元気に、生き生きと、やる気をもって取り組んでいるPTA連合会を紹介します。 2面



県Pより委嘱を受け、たPTAの中から、二校の実践報告を紹介します。 3面



東信・中信の小中学校から、特色のあるPTA活動を紹介します。 4面

PTA活動を楽しもう

人と出会い共に活動することで、元気が出たり、やる気になったりしたことはありませんか。PTA活動にもさまざまな人との出会いがあります。PTAや学校の行事に参加して、会員同士が仲良くなること。保護者と先生が互いに信頼し合って、子どもたちのために話し合い考えること。みんなが情報を交換し、互いに協力すること。このような、心通い合う出会いのために、楽しみながらPTA活動に参加してみませんか。

今回は、元気に、生き生きと、やる気をもって取り組んでいる三つのPTA連合会を二面で紹介します。

平成25年度 県P共通研究テーマ決まる

「心で向き合えて いますか」

「家庭で、学校で、地域で、共に育つために」

現代社会では、私たちが大人が考え、協力し、子どもたちに「判断力や人間関係力を身につけるための環境」を提供することが必要です。長野県PTA連合会では、来年度新たな共通研究テーマに変更するにあたり、総務委員会および理事会で議論してきました。

その中で、子どもたちを育てるために、つながり合い語り合うこと。子どもたちと共に育つために、PTAがまず行動する元気を出す。などが大切であるという思いを持ちました。

この共通研究テーマを通じて、子どもたちの健全やかな成長のため、教育の原点である家庭教育の充実や地域社会における教育力の向上を目指したいと思えます。

そのためには、家庭・学校・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に協力し合い、子どもたちを社会全体で支えていくことが求められます。家庭で子どもと「言葉のキャッチボール」をする中で、親として何をすべきか、何を言うべきかを見極め、日々成長していく子どもたちを見守っていきたいと思います。(M・T)



2月始めに黄色の封筒に入ったご案内を各学校に配布させていただきます。 PTA小・中学生総合補償制度

ケガをした
通院1日目から補償

ケガをさせた
友達に大ケガをさせてしまった

病気で入院した
日帰り入院から補償※17日のみ

〇24時間いつでもどこでも補償します。
 〇個別加入に比べて保険料は約44%割安です。(注)
 〇保険料は年間3,000円からのパターンをご用意しております。
 (注)上記の割引率(約44%)は、この制度の被保険者数と保険金のお支払の状況によっては、今後、変更となる場合があります。

長野県PTA連合会が平成10年より導入している制度です。
4月1日補償開始の申込締切は3月25日です!
 詳しくは学校で配布された黄色の封筒の中のパンフレットをご覧ください。

申込締切日(消印有効)	
4月1日補償開始	3月25日
5月1日補償開始	4月25日
6月1日補償開始	5月24日

承認番号B1222820A1702-20130129

引受保険会社: 共栄火災海上保険株式会社 お問い合わせ: 小中学生総合補償制度担当係
 電話: 026(234)2180



特集 やる気・生き生き・元気

PTA音楽祭

須坂市PTA連合会

今回で、二十三回を迎えたPTA音楽祭が、須坂市文化会館メセナホールで行われた。

この音楽祭は、上高井地区各校におけるPTAコーラスの活動の成果を発表し合い、連合PTAの連帯を深め、豊かな文化の振興と地域づくりを目指している。

今年も大勢の会員が参加した。八割方は女性であるが、男性の参加も年々増えてきている。また、保護者と先生と一緒に歌う姿もみられた。

曲目は、合唱曲・歌謡曲などのほか、校歌もあった。また、楽器演奏をそえての発表もあった。



各PTAは、学校の音楽会や文化祭で発表した後この音楽祭に参加する。



参加者の声

心地よい緊張感で練習した成果が出せてよかった。いろいろな刺激を受けると共に元気をもらった。発表を聞いて、次の年につなげている。ドキドキしていたが、練習以上に本番はよくできた。生き生きと歌っている姿から情熱を感じた。お父さんたちの頑張る声に感動した。これからも、この音楽祭を引き継いでいきたい。

三行詩に取り組む

安曇野市PTA連合会

安曇野市PTA連合会では、平成23年度から「安曇野市PTA連合会三行詩コンクール」を独自の活動として行っている。

連合会の常任委員会、広報委員会合同の推薦委員会を開き、長野県PTA三行詩コンクールへの推薦作品を選考、その作品を含め安曇野市三行詩コンクールとしての各賞を選考する。

受賞者は、1月の研究発表集会の時に表彰される。これらの作品は、年3回発行される家庭共育委員会だより「ひまわり」に紹介され、全作品は、安曇野市PTA連合会ホームページにも掲載される。



選考委員へのインタビュー

「昨年の応募数より今年度は、かなり増えましたね」
「昨年の二百点から今年度六百五十点に増えたことにとっても驚いています。」
「家族で食卓を囲みながら一緒に考えたり、普段の何気ない会話から、気づいたものを書き留めたりしているようです。また、親子で一緒に応募してくれる家庭が増えてきたことは、とても嬉しいですね。」
「独自に三行詩コンクールを開催し取り組んでいることについてはいかがですか？」
「三行詩は親子のコミュニケーションのきっかけにもなるものです。PTA活動として取り組みやすいと思います。」
「選考している時、その人の気持ちになれるんです。ぐっときて心が温まったり、元気をもらえたり、私達もわくわくしてやりがいを感じています。」
「今後は子どもだけでなく、保護者、先生方にも応募してもらいたいと思います。ぜひ続けていきたい活動の一つですね。」

共に心を磨こう

更埴PTA連合会

更埴PTA連合会では、体験型の研修会をした。この会員からの声を受け、昨年七月、戸倉上山田中学校において「掃除に学ぶ会」を行った。会場校及び近隣の小中学校のPTA会員が参加し、トイレ掃除から様々なことを学んだ。

スポンジやブラシを使いながら、ひたすら汚れを落として磨いていく。便器だけでなく壁、天井、床まで磨く地道な作業だ。最後は、掃除の道具をきれいに洗う。全ての作業を終えた参加者の顔は、達成感に満ちあ

ふれていた。今後も体験型の研修を行い、PTA会員同士が生き生きと活動できる場を作っていきたい。



参加者の声

「トイレの垢を落としながら自分の心の垢を落とせた。清々しい気分になった。」
「無理だと決めつけしないで、諦めないでやればきれいになる、できないことはないのだ。壁や天井を掃除したら、トイレが輝きを取り戻したので、びっくりした。」
「私たち大人が粘り強く立ち向かっている後ろ姿を、子どもに見せられたい。」
「自分の力とやる気だけを頼りに取り組んだので、きれいになった時は、達成感と感動でいっぱいだった。」
「このような体験型の研修会があったら、また参加してみたい。」

僕たち! 私たち! がつついています!

信州の牛乳を飲もう!

長野県生乳生産販売委員会
信州 JA全農長野
長野県牛乳普及協会

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。 やっぱ信州の牛乳でしょ

平成24年度 県Pの動き

第60回日本PTA全国研究大会 ～京都大会～

いのち ころろ ゆめ～伝えよう つなげよう 育もう～
8月24日、25日、京都府内の6市において開催。県内より45名が参加。

県小・中学校校長会と県PTA代表者との 教育懇談会

9月21日、信濃教育会館において開催。県P役員14名が参加。「学力」「いじめ・不登校」「生徒指導」「家庭教育」のテーマをもとに意見交換が行われた。

第36回長野県同和教育研究大会

差別の現実から深く学び、生活を高め、
未来を保障する教育を確立しよう

9月28日、長野県総合教育センターにおいて開催。県内より12名が参加。

第44回日本PTA関東ブロック研究大会 ～静岡大会～

集い学び ころろつなごう ふじのくに
～子どもたちの未来のために～

10月19日、20日、静岡県静岡市において開催。県内より61名が参加。

第54回長野県PTA研究大会 ～塩筑大会～

「家庭が原点」～子どもと向き合うために～

10月28日、塩尻市文化会館レザンホールにおいて開催。県内PTA会員約1000名が参加。

長野県教育委員会と 長野県PTA連合会との教育懇談会

11月14日、信濃教育会館において開催。県P役員31名が参加。「学力」「いじめ・不登校」「部活動・社会体育」のテーマをもとに意見交換が行われた。

第11回信州「教育の日」 ～上田大会～

社会のみんなの力で 子どもたちを育てよう
～共に手を取り合い、できることから始めよう～

11月17日、丸子文化会館セレスホールにおいて開催。県内より61名が参加。

日本PTA三行詩コンクール

全国PTA三行詩コンクールにおいて、長野県より2名の受賞がありました。

社団法人日本PTA
全国協議会会長賞

〔中学生の部〕
腹へった
親がいるから
つぶやける

（戸倉上山田中学校三年
宮本 耕佑

佳作

〔小学生の部〕

悲しい事があった時、
お母さんに話したい、
嬉しい事があった時、
家族みんなに話したい。

（辰野西小学校六年 松本 南菜

第21次 研究委嘱PTA 実践報告

県Pでは、県内すべてのPTA会員に子育てや教育課題などへの理解を深めてもらうことを目的として、昭和61年より研究委嘱事業を行っている。郡市Pと連携をはかり、各学校単位のPTAに研究を委嘱する。委嘱されたPTAは、各々PTA活動に関わる研究テーマを設定し、2年計画で、テーマに沿った活動を実践している。平成23・24年度委嘱校の中の2校の実践報告を以下に掲載する。



一 講演会で学ぶ
生活習慣改善のきっかけづくりとなるよう、東海大学教授の小澤治夫先生による講演会を開催した。二十三年度は保護者や地域住民を対象に子どもを大人に育てる大人の責任で、二十四年度は生徒対象に「今君たちができること」の演題で行われた。どちらも先生のお話が心に落ち、たくさん感想が寄せられた。また、生活習慣の八項目（毎朝ご飯を食べ

学習や運動・体力向上につながる 生活習慣づくりをめざして

上松町立 上松中学校PTA

上松中学校PTAでは、研究委嘱を受け、学習や運動・体力向上につながる生活習慣について、生徒が自ら気づき改善できるような働きかけをしたいと考えた。そこで、生徒及び保護者が生活習慣を振り返り、改善点に気づけるような活動に取り組んできた。

研究の内容

講演により、生徒、保護者、地域の方、教職員がみんなで生き生きと過ごすことの大切さを確認し、やる気ももたらした。生活リズム健康調査では、次の四点について改善がみられてきた。
・朝食を食べる生徒が増えた。
・学校で眠くなる生徒が減少した。
・入浴時、湯船につかる生徒が増えた。
・家庭学習の時間が増えた。
この調査により、生徒も保護者も自分自身の生活状況を振り返る良い機会を作れた。学級懇談会では、帰宅後の時間の使い方の工夫などが課題として挙げられた。今回の研究を通じて「学習や運動・体力向上につながる生活習慣づくり」の大切さに気づき、改善点を見つけたことは大きな成果だった。今後も、家庭、学校、地域が協力して、生徒が生き生きと学校生活を送れるよう、調査や働きかけの継続に協力していきたい。

成果と課題

二 生活リズム健康調査の実施

講演会を踏まえ、生徒と保護者に、生活習慣の八項目を中心とした生活リズム健康調査を二年間で三回行った。この調査の結果をもとに、学級懇談会では、家庭の状況や今後の改善点などを話し合った。

読書で親子の ふれあいのひとときを

箕輪町立 箕輪北小学校PTA

箕輪北小学校では、重点活動の一つに「読書」を据えている。朝読書やボランティアグループ「ふきのとうの会」による読み聞かせが定着しているが、家庭での読書の取組にはまだまだ差が見られる。そこで、PTAは家庭での読書のあり方を見直し、学校と家庭が協力して「読書」に取り組もうと考えた。

研究の内容

一 「親子読書の日」
都合のよい曜日を決めて、テレビ・ゲーム・パソコンなどのメディアから離れ、親子で本と一緒に読んだり、本について語り合ったりする「親子読書の日」の設定を各家庭に呼びかけた。その際、読み聞かせをしたり、一緒に本を読んだりしたら丸印をつけ、読んだ本の題名やひと言感想などを記録する「親子読書の記録」カードを活用してもらった。

成果と課題

・学校とPTAが連携して「読書」に取り組んだ結果、本が好きな児童は増えてきている。
・「親子読書の日」を通して、読書が家庭生活の中に定着してきている。
・「この本読んで」の活動を通して、読み聞かせをしたり、一緒に同じ本を読んで語り合ったりする機会が増え、より親子のふれ合いの時間を持つことができた。
・ボランティアの方との交流を通して、読み聞かせのよさや必要性を感じた。さらに、交流の仕方を工夫したい。



二 「この本読んで」の活動
子どもたちが、家族に読んでほしい本を図書館から持ち帰り、読み聞かせてもらったり、読んだ感想を互いに語り合ったりすることで、親子がふれ合う時間を作ろうと「この本読んで」の活動を実施した。その後「あなたは読書が好きですか」「家庭読書の日に、お子さんと一緒にどれくらい本を読んでいますか」「この本読んでの企画はどうでしたか」という家庭読書アンケートを行った。他にも、PTA会員からの要望があり、読み聞かせボランティア「ふきのとうの会」のメンバーとの交流を考えた。現在は、朝の読み聞かせの予定を、学年便りなどで通知してもらい、保護者も子どもと一緒に読み聞かせを聞けるようにした。

給食

たのしい



子どもたちのために

公益財団法人 長野県学校給食会

〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5
TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535

御嶽山に見守られて

王滝村

王滝小・中学校

古来より霊峰として知られ、多くの観光客で賑わう御嶽山の麓、王滝村のほぼ中心に、児童37名・生徒25名が通う学び舎がある。

教育目標「郷土の山 御嶽山のように」のもと、豊かな自然に生まれ地域に支えられながら、郷土色を大切にした教育活動に取り組んでいる。

「海の子は山へ 山の子は海へ」 静岡県の御前崎中学校との交流も、五十周年を迎えた。両校の「海の子は山へ 山の子は海へ」という強い想いが、交流の始まりだった。以降、現在に至るまで、王滝での山の学習と御前崎での海の学習を両校の生徒が一緒に行っている。

親子料理教室 子育て委員会が中心となり、給食の人数メニューを親子で作る教室だ。事前にアンケートを取り、メニューを決め、できる限り王滝でとれた野菜を使う。今年度は「野菜たっぷり」



PTAコーラス 小学校の春の行事に「銀河の森音楽会」がある。PTAコーラスも毎年そこに参加している。小学校だけの音楽会だが、中学生の保護者もメンバーの一員となつて、一緒に歌う。事前に、夕方三回程度練習し、本番に臨む。

取材を終え、玄関に降りると、そこには半世紀に渡る両校の交流の歴史が展示されていた。交流を体験した子どもが、やがて親となり、今度はPTAとして交流をする。何十年経っても「海の子は山へ 山の子は海へ」の願いは、人から人へと受け継がれていくだろう。



御前崎中PTAとの記念撮影



単位PTA訪問 No.76

郷土に生きる人材を育てる

上田市

菅平小・中学校

観光業と農業を中心に全国的に有名な菅平高原。スキー・各種スポーツ合宿・高原野菜の出荷などで活気に満ちた大地に、児童57名・生徒34名が通う菅平小・中学校はある。

厳しささと豊かさを併せ持った大自然に囲まれた環境のもと、教育目標「郷土を拓く大地の教育」を9年間通して実践する小中一貫教育に取り組んでいる。

スキー活動支援 菅平小・中学校は、昭和四十四年にスキーを「校技」として位置づけ、授業や課外活動・部活動に取り組んでいる。小学校低学年はアルペンスキーとクロスカントリースキーの授業がある。担任の指導をPTAや地域の長寿会が支援する。校庭や校地周辺を使って行うクロスカントリースキーでは、親子で授業を受ける場面も見られる。小学校高学年の課外活動・中学校の部活動の指導は、学校職員とスキークラブコーチで行う。保護者は、子どもたちの大会参加や練習のため、PTAが所有する車両を使って、大会会場までの送迎をしている。移動の手續きや車両の使用方法については、厚生部が中心となつて「移動支援委員会」を組織し運営している。



「JAフェスティバル」は、六月の「菅平カントリーフェスティバル」と、十月の「JAフェスティバル」に合せて行われる。特に十月の「JAフェスティバル」のバザーは、地域からもリサイクルスキー用品などの寄付を募り販売する。市内外から毎年大勢の人が楽しみに来場してくれるバザーとなつている。

感謝の下草刈り 下草刈り活動は年二回、小学校高学年と中学生が取り組んでいる。六月は、学校林の下草刈りを行う。PTAは役員を中心に、間伐や枝落としの作業をする。九月には、スキー場や

大会や合宿への参加・移動の経費などの資金支援としてバザーとアルミ缶回収を行っている。PTAバザーは、六月の「菅平カントリーフェスティバル」と、十月の「JAフェスティバル」に合せて行われる。

地域への感謝の気持ちを込めて、ゲレンデやジャンプ台の下草刈りをする。作業する大人たちの中には、保護者だけでなく、卒業生や青年会メンバーの姿も見られる。



取材当日、小学校高学年と中学生による「スキー出発式」が行われていた。その中、コーチ代表で挨拶された方の言葉が心に残った。「私が十二年前コーチになったとき、若いコーチはまだこの学校の子どもでした。私の娘に十二年後スキーを教えるのはみんなです」

編集後記 息子が通う学校のPTA作業に参加した。所用重なる休日ではあったが、今回は、PTA作業を最優先とした。そこには、日頃から教育活動の充実を、微力ながらも支えたいという思いがあった。校庭周辺の草刈りをしている、母校での数十年前の記憶が蘇ってきた。ここは、先生や友だちと一緒に、草取りをした場所。額の汗を拭いながら、笑顔で先生と言葉を交わしていた、初夏の日の小さな思い出が残る校庭。

- ◇ 広報委員
 - ◎ 宮下 繁明 (更 埴)
 - 中澤 守 (上高井)
 - 林 陽子 (飯 伊)
 - 胡桃澤公司 (木 曽)
 - 赤羽 聡 (上高井)
 - 唐木 秀樹 (上伊那)
 - 原田 千万 (飯 水)
 - 木内 京子 (長野市)
- ◇ 編集委員
 - ◎ 赤羽 聡 (高山中長)
 - 和田 敦 (川田小頭)
 - 伊東 貴世 (後町小P)
 - 柳澤 真美 (櫻ヶ岡中P)
 - 木下まなみ (裾花中P)
 - 田中富貴子 (城山小P)
 - 赤塩 香 (安茂里小P)
 - 関 富志子 (裾花小P)

思いやりが学べる、東京ディズニーリゾートの現役キャストによる小学校向け出張授業「魔法の教室」。募集は4月中旬より開始予定です。ご案内書は各校様宛てに郵送にてお届けいたします。

www.tokyodisneyresort.co.jp/campus